



はじ にほん せいかつ ゼロから始まった日本の生活

Seregelen Anil
(セルゲレン アニル)

しゅっしんち
出身地：モンゴル

わたし ねん がつ はじ にほん き よくとし ねん がつ にほん ちゅうがっこう
私はモンゴルから 2019年の 11月に初めて日本に来ました。そして翌年の 2020年2月に日本の中学校に
はい わたし じんせい いちばん ちゅうがっこう こうこう はい はな
入りました。私の人生の一番のチャレンジである、この中学校から高校に入るまでのことについて話した
おも
いと思います。

にほん き とき わたし にほん ご はじ がっこう い ひ わす
日本に来た時、私は日本語があいさつしかわかりませんでした。初めて学校へ行った日のことが忘れら
い まえ なに お わたし おも しんばい
れません。行く前はこれから何が起こるのだろう、私にできるのだろうかと思ってとても心配でした。
とうじつ じ こしょうかい いちばんうし せき すわ たんにん せんせい わたし はなし
当日、自己紹介をして一番後ろの席に座ると、担任の先生が私についてたくさんの話をしてくれまし
ざんねん こと はな わたし やす じ かん
た。残念ながらどんな事を話してくれたか、私はまったくわかりませんでした。休み時間になると、ク
あつ き わたし
ラスのみんなが集まって来てくれました。みんなは私について “Do you have a girlfriend?” や “How
えいご しつもん ほか ひと きょうしつ まど
tall are you?” などと英語で質問をしてくれました。他のクラスからもたくさんの人たちが教室の窓
うですもう
からのぞいていました。そのあと腕相撲をやり、いきなりクラスのチャンピオンになり、プレゼントをも
がっこうせいかつ しょにち す いえ かえ おや ひ
らいました。このように学校生活の初日が過ぎました。家に帰ってから親にその日にあったことをたくさ
はな
ん話しました。

がっこう かよ はじ いっしゅうかん ご わたし ぶ はい わたし ひと
学校に通い始めて一週間後、私はサッカー部に入りました。これは私にとってはもう一つのチャレン
いちねんじゅうたいいくかん れんしゅう いっしゅうかん かい
ジでした。モンゴルのサッカーは一年中体育館でやり、しかも練習が一週間に2回だけでした。ところが
にほん ひろ れんしゅう まいにちあさ ほうかご れんしゅう けが
が、日本では、広いグラウンドで練習し、しかも毎日朝と放課後に練習がありました。怪我也たくさんし
きび れんしゅう わたし ぎじゅつ にんたいりよく
ました。しかしこの厳しい練習のおかげで、私はサッカーの技術だけではなく、チームワークや忍耐力
まな
を学びとることができました。

にほん ご ほう ともだち はなし き せんせい こくぼん か かんじ ぜんぶ
日本語の方は、わからなくても友達の話をよく聞いて、わからなくても先生の黒板に書いた漢字を全部
か がんば しゅう かいく にほん ご せんせい ほうかご べんきょう おし
ノートに書いたりして頑張りました。また、週に1回来る日本語の先生と放課後に残って勉強を教えて
すこ にほん ご りかい ねんご にほんご
もらいました。このようにして少しずつ日本語を理解するようになり、1年後には日本語をかなりわかる
せんせい ともだち
ようになりました。これも先生と友達のおかげです。

いがい もんだい こうこうにゆうがく ちゅうがっこう はい がっこう な
ことば以外の問題は、高校入学についてでした。中学校に入っすぐで、まだ学校にも慣れていなかった
こうこうえら たいへん たんにん せんせい にほんご せんせい
たので、高校選びはとても大変でしたが、担任の先生や日本語の先生がとてもよくサポートしてくれまし
ちゅうがっこう はい ねんご こうこうじゆげん みごとごうかく ごうかく はっぴよう き とき
た。中学校に入ってからちょうど1年後に高校受験をして、見事合格しました。合格の発表を聞いた時、
おや せんせい でんわ せんせい がっこう き い がっこう い せんせい
すぐ親にと2人の先生に電話しました。先生がすぐ学校に来てほしいと言ったので、学校へ行くと先生方

ぜんいん はくしゅ いわ ことば たんにん せんせい な わたし せんせい
全員が拍手して、お祝いの言葉をもらいました。担任の先生は泣きそうでした。私はその先生とそのあ
と、なつかしい思い出にひとりながら学校中を歩きました。
かげつ ごそつぎょうしき そつぎょう な せんせい じぶん か てがみ よ
2ヶ月後卒業式がありました。みんな卒業したくないと泣いていました。先生が自分で書いた手紙を読
み、最後はウクレレを弾いて、クラス全員で「オワリはじまり」と言う歌を歌って終わりました。
わたし がっこう ねんかん おも で つく さいしょ わたし
私はこの学校は1年間しかいませんでしたが、すばらしい思い出を作ることができました。最初は私が
にほん がっこう す ねんご がっこうい がい がっこう
日本の学校で過ごすイメージはできませんでしたが、1年後にはこの学校以外の学校はイメージできなか
ったです。友達や先生たちがいなくなったら、私はもう途中であきらめていたかもしれないです。友達や
せんせい ほんとう かんしゃ いちねん えいが ほん わす ゆた おも
先生には本当に感謝しています。この一年は映画や本にもできそうなぐらいの忘れられない豊かな思い
で せいちょう
出でした。ご清聴ありがとうございました。